

感染症の登園基準について

園の学校医と相談をし、感染症などの登園基準を次の通りにします。

ただし、医師が認めた場合はその限りではないものもあります。

(※卒園するまで大切に保管してください。)

集団生活では早期発見・早期治療がとても大事です。感染が最小限にとどまるようにご協力をお願いいたします。

尚、状況に応じてその都度変更する事もあります。

病名	潜伏期間	感染しやすい期間	主な症状	登園の目安
インフルエンザ	1~4日	症状がある期間。(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発熱、全身倦怠、筋肉痛、頭痛、咳 合併症：肺炎、中耳炎、熱性けいれん、脳症	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで。
新型コロナウイルス	2~7日	発症後3日~5日	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで。
水疱(みずぼうそう)	14~16日	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで。	軽熱、全身に紅斑、紅点丘疹状→水疱→顆粒状痂皮	全ての発しんが痂皮(かさぶた)化してから。
流行性耳下腺炎(おたふく)	16~18日	発症3日前から耳下腺腫脹後4日。	発熱、片側か両側の耳下腺、顎下腺、舌下腺の膨張及び圧痛	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良くなるまで。
咽頭結膜熱(プール熱) アデノウイルス感染症	2~14日	発熱、充血等症状が出現した数日間。	発熱、咽頭炎、頭痛、食欲不振、扁桃腺炎、結膜炎	主な症状(発熱・咽頭発赤・眼の充血)等が消え2日経過してから。
ウイルス性結膜炎(はやり眼) (アデノウイルス感染症) エンテロウイルス	2~14日	充血、目やに等症状が出現した数日間。	軽熱、結膜充血、目やに、耳前リンパ節腫脹・圧痛、流涙	感染力が非常に強い為、結膜炎の症状が消失してから。
百日咳	7~10日	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで。	次第に咳が強くなり、コンコンと咳き込んだ後にヒューという音をたて息を吸う。夜間悪化する。	特有の咳が消失するまで 又は5日間の適切な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで。
腸管出血性大腸菌感染症(0157, 026, 0111など)	3~4日	便の中に菌が排泄されている間。	激しい腹痛、頻回の水様便、血便 合併症：溶血性尿毒症症候群、脳症	医師において感染の恐れがないと認められていること。

病名	潜伏期間	感染しやすい期間	主な症状	登園の目安
溶連菌感染症	2～5日	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間。	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、 莓舌、頸部リンパ節炎、 全身倦怠	抗菌薬内服後24～48時間経過していること。
マイコプラズマ肺炎	2～3週間	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間。	咳、発熱、 重症の場合呼吸困難	発熱や激しい咳が治まっていること。
手足口病	3～6日	手足や口腔内に水疱、 潰瘍が発症した数日間。	感冒様症状 手足口に赤斑→水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。
伝染性紅斑 (りんご病)	4～14日	かぜ症状発現から、顔に 発しん出現前の1週間。	顔面赤斑、特に頬部の 赤斑性発疹	全身状態が良いこと。
ウイルス性胃腸炎 (ノロ ロタ アデノウイルス等)	12時間～ 48時間 1～3日	症状のある間と、症状消失後 1週間。(量は減少していく が、数週間ウイルスを排泄し ているので注意が必要)	嘔吐・下痢・食欲不振 症状が悪化すると脱水、 痙攣を起こすこともある。 ノロは白っぽい便が出る。	前日に嘔吐した場合は登園を控える。 嘔吐、下痢等の症状が治まり、 普段の食事がとれること。
ヘルパンギーナ	3～6日	急性期の数日間。(便の中に 1ヶ月程度ウイルスを排泄し ているので注意が必要)	高熱、咽頭痛、咽頭に水疱 合併症：熱性痙攣、脱水	発熱や喉の痛み・下痢がおさま り、普段の食事がとれ、 全身状態が安定している。
RSウイルス感染症	4～6日	呼吸器症状(咳・喘鳴・呼吸 器困難等)のある間。	発熱・鼻水・咳・喘鳴・呼吸困 難、乳児期早期は入院が必要 となることが多い。	重篤な呼吸器症状が消失し、 全身状態が良いこと。
伝染性軟属腫 (みずいぼ)	2～7週間	不明	直径1～3mmの半球状丘疹の特 徴的な皮疹。自然治癒もある が数か月かかる場合がある。	掻きこわし傷から滲出液が出 ている時は被覆すること。
伝染性膿か疹 (とびひ)	2～10日	効果的治療開始後24時間 まで。	湿疹や虫刺され痕を 掻爬した部に細菌感染を 起こし、びらんやアトピー性 皮膚炎があると重症化 することもある。	皮疹が乾燥しているか、湿潤 部位が被覆できる程度 のものであること。 治癒するまでプールには入 れない。
結核	3か月～ 数十年	喀痰の塗抹検査が陽性の間。	発熱、咳、呼吸困難、結核性髄 膜炎(高熱・頭痛・嘔吐・意識 障害・痙攣)	医師により感染の恐れが ないと認めるまで。
麻疹(はしか)	8～12日	発熱1日前から発しん出現後 の4日後まで。	高熱・風邪症状・結膜充血・ 目やに頬粘膜に小斑点、一時 解熱し再び高熱・耳後部から 赤い発疹が全身に広がって いく。	解熱後3日を経過してから。
風しん	16～18日	発しん出現の前7日から後 7日間位。	種々の発疹、軽熱、 リンパ腺種大	発しんが消失してから。

*病気を併発したり、余病の出る場合もありますので、必ず主治医にご相談ください。

～症状に合わせた対応～

○子ども一人ひとりの元気な時の『平熱』を知っておくと
症状の変化に気付く目安になります。

○いつもと違うこんな時は、子どもからのサインです！

- ・親から離れず機嫌が悪い(ぐずる)
- ・睡眠中に泣いて目が覚める、夜眠れなかった
- ・咳、鼻水が出る
- ・顔色が悪い
- ・咳き込んだなどきっかけがないのに吐いた
- ・便がゆるい、排尿が少ない
- ・普段より食欲がない

※いつもと違うと感じた時には必ず園にお伝えて下さい。

以下の症状の時は、家で様子を見てください

*発熱した時

- ・37.5℃を超えた熱があり、元気がなく機嫌が悪い、食欲がないなどの全身状態が良好でない。

※発熱後は、解熱剤を使わず平熱になり24時間経過してから登園いただきますよう、
ご協力をお願い致します。

*下痢の時

- ・24時間以内に複数回の水様便がある。
- ・食事や水分を摂るとその刺激で下痢をする。
- ・機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がある。

*嘔吐の時

- ・24時間以内に複数回の嘔吐がある、嘔吐と同時に体温がいつもより高いなどの症状が見られる。
- ・食欲がなく、水分も欲しがらない、機嫌が悪く元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状が見られる。

※流行時期は複数回ではなく、1回の下痢や嘔吐の場合でも様子を見ていただく場合があります。

*頭を打った時

- ・24時間は顔色が悪くなる、嘔吐するなど体調の変化に注意しましょう。

以上の場合に限らず、お子さんの全身状態によっては、お迎えをお願いする場合があります。
ご了承ください。